

## ワーク・ライフ・バランス推進事業【滋賀県甲賀市】

個別事業費 3,708 千円

交付金額 1,854 千円

## 地域の実情と課題

人口減少、特に15～64歳の生産年齢人口の急激な減少により、労働力不足の深刻化、地域経済の活力減退などが懸念されており、製造業を基幹産業とする本市では、担い手不足への対応が急務となっている。

急激な人口減少に対抗する手段として、女性の活躍をはじめとする多様な人材の活躍、多様な働き方の普及促進、そのための働き方改革やワーク・ライフ・バランス推進などの環境整備は不可欠である。

しかし、固定的性別役割分担の考え方や社会の慣習が今なお存在しており、職場や地域等の組織の意思決定過程において、女性の参画・活躍が少ない状況があるとともに、職業生活を希望する女性にとって家庭生活との継続的な両立が困難な現状にある。

## 事業の特徴

キックオフ講演会からイクボスKOKAネットワーク組織拡大と、年間を通して継続した支援を実施することにより、市内企業へ働き方改革、ワーク・ライフ・バランス、女性活躍を推進する。

イクボスKOKAネットワークと区・自治会、自治振興会や学校キャリア支援担当者との情報共有や意見交換の場を提供することで、企業と地域、学校が連携し、若者の定住促進と企業の人材不足の解消、職場や地域における女性の登用促進を図る。

## 目的・目標

イクボスKOKAネットワーク参加企業数については、新たに5社が参加し、合計18社となった。イクボス宣言企業に「イクボス」、「働き方改革」、「ワーク・ライフ・バランス」について継続的に情報提供や助言を行うことにより、誰もが働きやすい職場環境の整備を促進し、働きたい、働き続けることが出来る企業を増やし、優秀な人材の確保と女性の就業率の向上をめざすとともに、令和3年度から活動を開始した市内イクボス宣言企業のネットワーク「イクボスKOKAネットワーク」の組織拡大と年間を通じたセミナーや意見交換会、先進地研修などを実施し、管理職、経営者の意識改革を図り、管理職への女性の登用を促進する。

## 連携団体

- ・甲賀市商工会
- ・甲賀市工業会、
- ・甲賀市企業人権啓発推進協議会
- ・イクボス宣言企業
- ・(一社)環びわこ大学・地域コンソーシアム

## 事業の効果

・キックオフ講演会では、著名人を招聘することで企業のみならず多くの市民の参加を促し、育児・仕事・趣味などを通したワーク・ライフ・バランスについて学びを深め、理解を広めることができた。また、市内・県内の企業の先進事例や取り組みを学ぶことで、自社の課題について改めて気づくことができたとともに、ワーク・ライフ・バランスの必要性など共通理解を図ることができた。

・イクボス展開セミナー事業では、階層別にイクボスの理念・実務を伝えることで、経営者から一般職員まで職位を通してイクボスの考え方が浸透した。また、各回情報交換会を行うことで、様々な共通理解を図ることができた。

・女性のデジタル人材育成セミナー事業では、DX・ITの基礎知識、DX・ITを利用して業務を効率的に進める人材育成について学び、DX・ITの必要性を再確認するとともに、DX・ITを身近に感じる事ができた。

## 今後の課題

イクボスや働き方改革、女性活躍について取り組む企業を増やすためさらなる啓発を行うとともに、イクボスKOKAネットワークの参加企業の拡大が必要である。また、イクボスKOKAネットワークと地域、県内高校と連携し、若者の定住促進と企業の人材不足の解消と職場や地域における女性登用の促進を図る必要がある。

## ワーク・ライフ・バランス推進事業

### キックオフ講演会(7月13日)



### イクボス展開セミナー(全4回)



### イクボスKOKAネットワークインターシップ



### 女性のデジタル人材育成セミナー

